

エコアクション21

2024年度 環境経営レポート

対象期間：2024年1月1日～2024年12月31日



発行年月日 2025年2月21日

 **丸平工業株式会社**

目 次

1. 会社・組織の概要	… 1 ～ 2
2. 対象範囲（認証・登録範囲、SDGs）、レポートの対象期間・発行日	… 3 ～ 5
3. 環境経営方針	… 6
4. 実施体制	… 7
5. 環境経営目標	… 8
6. 環境経営計画	… 9
7. 環境経営目標の実績、環境負荷の実績推移（CO2排出量）	… 10 ～ 11
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	… 12
9. 環境経営目標の達成状況・環境経営計画の実施状況と評価結果	… 13
10. 次年度の取組内容	… 14
11. 環境関連法規などの遵守状況の確認、評価結果、違反・訴訟などの有無	… 15 ～ 16
12. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	… 17

発行日：2025年2月21日

発行責任者：環境管理責任者

次回発行予定：2026年 2月頃

丸平工業株式会社 会社概要

・ 社是

丸平工業株式会社は顧客の快適で安全な空間を創造する為、誠実に熱意をもって仕事を完遂する。
経営者は人生をかけて、社員とその家族の健康と幸福を追求し、全てに於いて全責任を負う。
全社員は会社の発展と存続をはかるよう勤勉、熱意、創意、誠意をもって仕事に邁進する。

・ 社訓

1. 健康は幸福
2. 誠意は信用
3. 努力は発展
4. 反省は向上
5. 質素は安定

代表取締役 徳平 周也

・ 沿革

昭和51年	丸平設備（個人）として創業
昭和53年	資本金200万をもって有限会社丸平工業を設立
昭和54年	一般建設業許可 管工事業 取得
昭和58年	一般建設業許可 水道施設工事業 取得
昭和63年	一般建設業許可 土木工事業 取得
平成元年	資本金2,500万円に増資
平成 5年	丸平工業株式会社に組織変更
平成19年	支社・大阪事務所開設
平成22年	特定建設業許可 管工事業 取得
平成26年	新社屋完成により現住所に本社移転
平成29年	エコアクション21認証登録 取得
平成30年	一級建築士事務所登録
令和 2年	大阪事務所を日本橋から天満に移転
令和 2年	4月1日 徳平周也 代表取締役役に就任
令和 3年	こうちSDGs推進企業登録
令和 5年	特定建設業許可 電気工事業 取得



高知本社



大阪事務所

1. 会社・組織の概要

【事業所名】 丸平工業株式会社

【代表者氏名】 代表取締役 徳平 周也

【所在地】 本社： 〒780-0051 高知県高知市愛宕町3丁目13-3
大阪事務所： 〒530-0043 大阪府大阪市北区天満1丁目11番8号
太陽光発電設備： 〒781-8130 高知県高知市一宮字藤ヶ原2732-21
倉庫： 〒780-0051 高知県高知市愛宕町3丁目13-29

【環境管理責任者及び担当者連絡先】

環境管理責任者： 積算部 課長

環境事務局： 事務担当

連絡先： TEL 088-824-4937
FAX 088-824-4932
URL <http://www.maruhirakogyo.co.jp/>
E-MAIL maruhira@maruhirakogyo.co.jp

【事業活動】 建設業 (管工事業、土木工事業、水道施設工事業、電気工事業)

【保有する許可】 建設業許可 許可番号 高知県知事(特-2)第3963号 管工事業
高知県知事(般-2)第3963号 土木工事業、水道施設工事業
有効期間 2020年6月7日から2025年6月6日まで
許可番号 高知県知事(特-5)第3963号 電気工事業
有効期間 2023年12月18日から2028年12月17日まで

二級建築士事務所 登録番号 高知県知事登録 第1290号
有効期間 2023年8月26日から2028年8月25日

【所属】 高知市管工事設備業協同組合、建設業労働災害防止協会、高知県設備設計事務所協会

【事業規模】 設立年月日 1978年2月23日

資本金 25,000 千円

		2022年度	2023年度	2024年度
売上高	(百万円)	956	798	983
従業員数	(人)	29	29	30
本社	敷地面積 (m ²)	298.87	298.87	298.87
大阪事務所	敷地面積 (m ²)	266.70	266.70	266.70
駐車場	敷地面積 (m ²)	239.51	239.51	239.51
太陽光発電設備	敷地面積 (m ²)	501.20	501.20	501.20
本社	床面積 (m ²)	262.53	262.53	262.53
大阪事務所	床面積 (m ²)	728.09	728.09	728.09
倉庫(本社前)	床面積 (m ²)	24.30	24.30	24.30

会計年度 1月1日～12月31日

従業員数 各年 12月31日現在

※2022年10月～ 本社3階事務所追加。2022年12月～ 本社屋上に太陽光発電設備設置。2023年5月～ 稼働。

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】 丸平工業株式会社
本社・倉庫
大阪事務所

【対象事業】 建設業
(管工事業、土木工事業、水道施設工事業、電気工事業)

【レポートの対象期間】 2024年1月1日～2024年12月31日

【環境経営レポートの発行日】 2025年2月21日

【環境経営レポートの次回発行日】 2026年 2月頃

【作成責任者】 環境管理責任者

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有	備 考
1	貧困をなくそう	○	技能実習生の採用
2	飢餓をゼロに	○	食育で高知を元気に
3	すべての人に健康と福祉を		
4	質の高い教育をみんなに		
5	ジェンダー平等を実現しよう		
6	安全な水とトイレを世界中に	○	海と日本プロジェクト、清掃活動
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
8	働きがいも経済成長も		
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		
10	人や国の不平等をなくそう	○	技能実習生の採用
11	住み続けられるまちづくりを	○	地域の環境に配慮した企業活動
12	つくる責任 つかう責任		
13	気候変動に具体的な対策を	○	高知の豊かな山を守る
14	海の豊かさを守ろう	○	高知の美しい海を守る
15	陸の豊かさを守ろう	○	高知の豊かな山を守る
16	平和と公正をすべての人に		
17	パートナーシップで目標を達成しよう		

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて取り組みます。



地域の環境に配慮した企業活動

- ・エコアクション21認証を受けCO2削減に向けた取り組みと社会貢献活動を行っています。
- ・クールビズ、ウォームビズの取り組みや、資源ごみの分別、リサイクルなど社員みんなでCO2削減に取り組んでいます。
- ・毎月地域の清掃活動を行い、会社だけでなく地域全体の衛生や健康に貢献しています。



技能実習生の採用

国内でのUIターンの雇用拡大にも力を入れてますが、日本だけでなく世界にも目を向けミャンマーからの技能実習生を受け入れています。

彼らが知識や経験を積んで自国の発展に貢献することを目標とし、実習中には日常生活や仕事で必要となる日本語教育や文化交流も積極的に行い、共に発展していけるよう取り組んでいます。



高知の美しい海を守る

太平洋に面し、美しい海に囲まれた高知県。

この環境を守り未来へつないでいくために「海と日本プロジェクト」に参加し、清掃活動やSNSなどの媒体でのプロジェクトの推進を通して広くこの活動の輪を広げていきたいと考えています。



©海と日本プロジェクト <https://uminohi.jp>



高知の豊かな山を守る

日本一の森林面積を誇る高知の恵まれた環境を活かして登山部を結成し、健康増進に取り組んでいます。また、登山部の活動の一環として登山道のごみ拾いも行っています。



食育で高知を元気に

高知県のおいしい食材を地域で消費する地産地消を推進し、地域への貢献を目指しています。子ども食堂への寄付活動を通して未来ある子供たちへの支援を行い、ローカルSDGsとして地域の食育や子育て支援を行っています。



3. 環境経営方針

【環境経営理念】

丸平工業株式会社は「水、空気。より良い環境を。」提供する会社として給排水衛生、空調設備機器販売、工事施工並びに土木工事、水道施設工事、電気工事を行っております。事業活動に伴って環境に及ぼす影響について考え、全社員一丸となって環境負荷低減に努め、継続的な改善による環境経営を推進します。

【基本方針】

1. 環境関連の法律、条令を遵守し環境保全に努めます。
2. 事業活動が与える環境負荷を低減する為に以下の事に取り組んでいきます。
 - 1) 節電を図り、CO2排出量を削減します。
 - 2) 事務所における水使用量の削減により、排水量を削減します。
 - 3) 事務所及び現場において、車両燃料削減により、CO2排出量削減します。
 - 4) 事務所及び現場における廃棄物排出量の削減します。また、リサイクルに努めます。
 - 5) 事務用及び調達資材のグリーン購入を推進します。
 - 6) 環境に配慮した（省エネ、水や空気。より良い環境を。）工事計画、工事施工を行います。
3. 環境経営目標を設定し、定期的な見直しを行い、環境保全活動のより向上に努めます。
4. 環境経営方針を会議によって全従業員に周知徹底します。
5. 環境経営レポートを作成し外部に公表します。
6. 社会貢献活動に取り組みます。

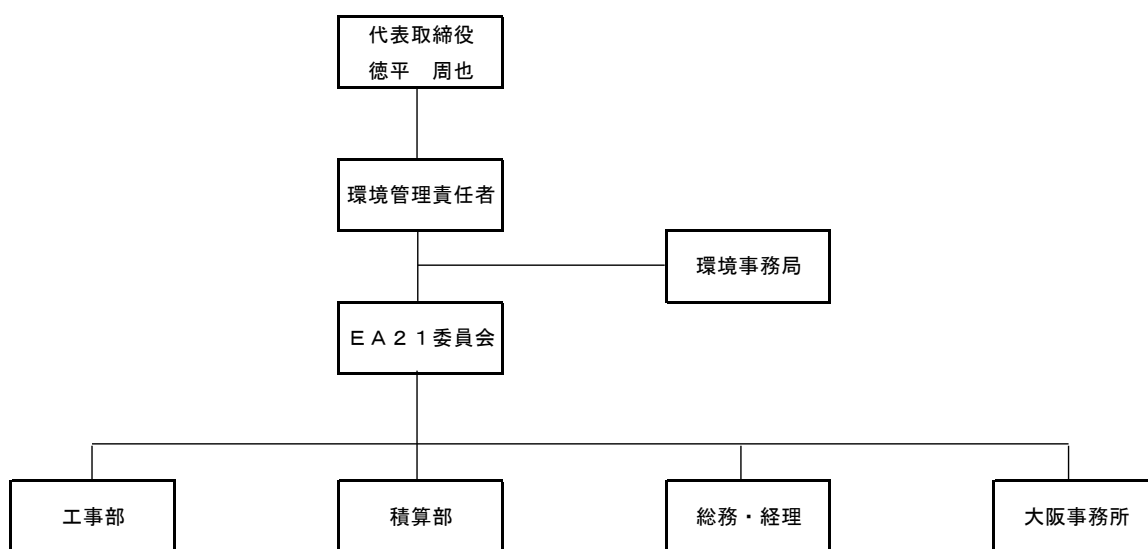
制定日 2016年7月20日

改定日 2021年2月3日

丸平工業株式会社

代表取締役 徳平 周也

4. 実施体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し指示及び全従業員へ周知 ・環境管理組織体制の承認 ・環境経営目標、環境経営計画を承認 ・代表者による全体評価と見直し・指示実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境管理組織体制の確認 ・環境経営目標、環境経営計画を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境管理組織体制の作成 ・環境経営目標、環境経営計画原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
工事部等	・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に係する環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に係する緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

5. 環境経営目標（2024年度）

（１）単年度環境経営目標

項目	単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	基準値 2020年～2022年 3ヶ年実績平均	2024年度 基準値の3%削減
売上高	（百万円）	652	852	956	—	—
ガソリン使用量	（ℓ）	16,928	19,065	19,981	18,658	18,098
軽油使用量	（ℓ）	2,555	4,290	2,926	3,257	3,159
電力使用量	（kWh）	33,071	32,812	31,231	32,371	31,400
都市ガス使用量	（Nm ³ ）	242	220	93	185	179
CO ₂ 排出量	（kg-CO ₂ ）	61,169	70,237	68,025	66,477	64,483
売上当たりCO ₂ 排出量原単位	（kg-CO ₂ /百万円）	93.8	82.4	71.2	82.5	80.0
用水使用量	（m ³ ）	262	273	177	237	230
一般廃棄物排出量	（kg）	653	521	599	591	573
産業廃棄物排出量	（t）	30	71	41	47	46
産業廃棄物再資源化率	（%）	59	78	72	70	72
グリーン購入量	（%）	65	46	45	52	54
環境負荷の少ない工事	（件）	55	56	52	全件	全件

①2020年に社員増、車両増、大阪事務所移転等経営内容に大きな変化があったため

環境経営目標値の基準値を2020年～2022年の過去3ヶ年間の環境負荷の実績を平均値とする。

②電力のCO₂排出量については、電気事業者別のCO₂排出係数

2023年公表の四国電力の調整後排出係数0.454（kg-CO₂/kWh）を使用した。

2023年公表の関西電力の調整後排出係数0.434（kg-CO₂/kWh）を使用した。

③環境負荷少ない工事（各現場にて1項目以上実施する）

低騒音、排出ガス対策型・建設機械の使用 ●節水・節電型の機器の設置 ●再生砕石や再生土の使用

④グリーン購入量は製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合

項目	単位	基準値 2020年～2022年 3ヶ年実績平均	2023年度(1年目) 基準値の2%削減	2024年度(2年目) 基準値の3%削減	2025年度(3年目) 基準値の4%削減	2026年度(4年目) 基準値の5%削減
ガソリン使用量	（ℓ）	18,658	18,285	18,098	17,912	17,725
軽油使用量	（ℓ）	3,257	3,192	3,159	3,127	3,094
電力使用量	（kWh）	32,371	31,724	31,400	31,076	30,753
都市ガス使用量	（Nm ³ ）	185	181	179	178	176
CO ₂ 排出量	（kg-CO ₂ ）	66,477	65,147	64,483	63,818	63,153
売上当たりCO ₂ 排出量原単位	（kg-CO ₂ /百万円）	82.5	80.8	80.0	79.2	78.3
用水使用量	（m ³ ）	237	233	230	228	225
一般廃棄物排出量	（t）	591	579	573	567	561
産業廃棄物排出量	（t）	47	46	46	45	45
産業廃棄物再資源化率	（%）	70	71	72	72	73
グリーン購入量	（%）	52	53	54	54	55
環境負荷の少ない工事	（件）	全件	全件	全件	全件	全件

ZOOM利用して高知と大阪の合同会議を行い、同一の活動計画を周知し計画目標を達成する。

6. 環境経営計画 2024年度

対象期間：2024年1月1日～2024年12月31日

項目		活動内容	担当者	期間
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	相乗りの推進	工事部	2024. 1-2024. 12
		適正なタイヤの使用。（摩耗、空気圧チェック）		
		急発進、急ブレーキの禁止。		
	電力使用量 削減	OA機器の省電力設定	全社員	
		クールビズ・ウォームビズの推進		
		空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）		
		空調室内機のフィルター、室外機のファンの清掃。	工事部	
用水使用量削減 （排水量削減）		節水掲示など社員への周知徹底	全社員	
		洗車時の水量調整、バケツ使用の励行。		
		まとめ洗いの実施		
廃棄物削減	一般廃棄物	分別の徹底	全社員	
		文書類の電子化によるペーパーレス化の推進		
		個人ゴミの持ち帰り処分		
	産業廃棄物	マニフェストの適正管理。	工事部	
		工事管理の徹底で廃棄物の減少を図る。		
		作業員・下請業者への周知徹底		
		分別によるリサイクル業者への搬送		
グリーン購入		購入品の指定	総務	
		詰め替え商品の購入。		
環境負荷の少ない工事実施		低騒音、排出ガス対策型、建設機械の使用。	工事部	
		節水・節電型の機器の設置		
		再生砕石や再生土の使用		
社会貢献活動		月1回 第1土曜日に男性職員による事務所半径100m以内の清掃。営業日は女性職員による事務所周辺の清掃。	全社員	

ZOOM利用して高知と大阪の合同会議を行い、同一の活動計画を周知し計画目標を達成する。

7. 環境経営目標の実績 2024年度

(1) 本年度実績

項目	単位	基準値	2024年度 目標値	2024年度 実績	実績値/目標値 (%)	評価
ガソリン使用量	(ℓ)	18,658	18,098	22,049	122	×
軽油使用量	(ℓ)	3,257	3,159	2,803	89	○
電力使用量	(kWh)	32,371	31,400	39,656	126	×
都市ガス使用量	(Nm ³)	185	179	310	173	×
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	66,477	64,483	71,961	112	×
売上当たりCO ₂ 排出量原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	82.5	80.0	73.2	92	○
用水使用量	(m ³)	237	230	198	86	○
一般廃棄物排出量	(kg)	591	573	924	161	×
産業廃棄物排出量	(t)	47	46	20	44	○
産業廃棄物再資源化率	(%)	70	72	61	85	×
グリーン購入量	(%)	52	54	36	67	×
環境負荷の少ない工事	(件)	全件	全件	全件	全件	○

* 評価は、目標達成「○」 ほぼ達成「△」 目標未達成「×」 で評価する。

* 2024年度の売上高は **983百万円**

* 電力のCO₂排出量については、電気事業者別のCO₂排出係数

2023年公表の四国電力の調整後排出係数0.454 (kg-CO₂/kWh) を使用した。

2023年公表の関西電力の調整後排出係数0.434 (kg-CO₂/kWh) を使用した。

<環境経営目標の達成状況>

- ①ガソリン・軽油使用量…使用車両と従業員の増加、遠方現場の受注多数のため目標達成できなかった。
- ②電力使用量…猛暑・寒波によりエアコン使用量が増えたため目標達成できなかった。
- ③都市ガス使用量…大阪社員寮での使用量が増加し、目標達成できなかった。
- ④CO₂排出量(総量)…①と同様。
- ⑤CO₂排出量(原単位)…売上高が大きく、目標達成。
- ⑥用水使用量…節水掲示など社員への周知徹底が行われ目標達成。
- ⑦一般廃棄物排出量…本社事務所を改修したため、廃棄物量が大幅増加となり目標達成できなかった。
- ⑧産業廃棄物排出量…現場での分別徹底が行われたことにより目標達成。
- ⑨産業廃棄物再資源化率…産業廃棄物の総排出量が抑えられたことにより、再資源化できる割合が減少し目標達成できなかった。
- ⑩グリーン購入…物品購買の担当者変更に伴いグリーン品への知識が乏しく、積極的な購入に至らなかったため目標達成できなかった。
- ⑪環境負荷の少ない工事…各現場で1項目以上の環境経営計画の活動を行い目標達成出来た。

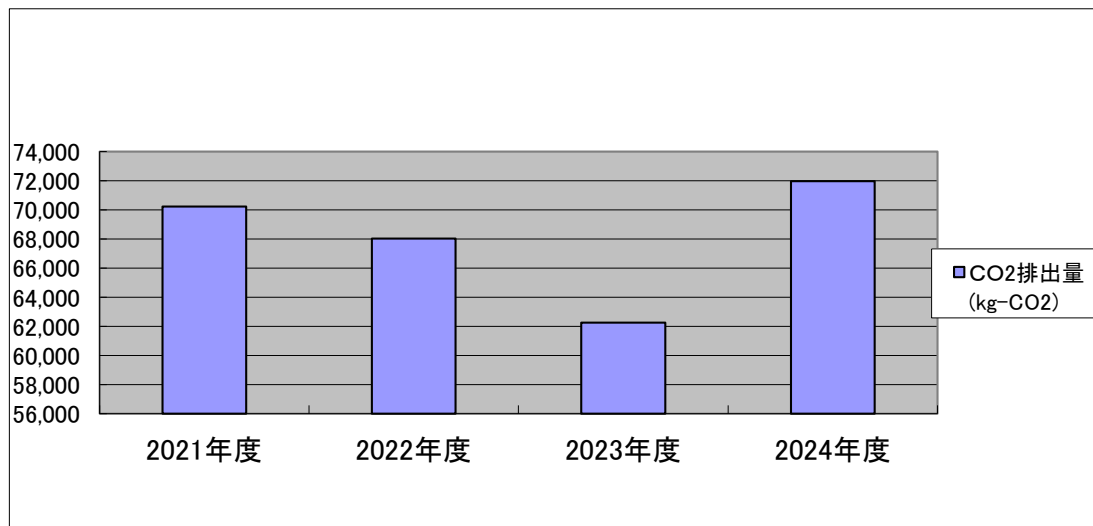
<過去の実績>

項目	単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
売上高	百万円	652	852	956	798
ガソリン使用量	(ℓ)	16,928	19,065	19,981	19,405
軽油使用量	(ℓ)	2,555	4,290	2,926	1,646
電力使用量	(kWh)	33,071	32,812	31,231	28,604
都市ガス使用量	(Nm ³)	242	220	93	197
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	61,169	70,237	68,025	62,257
売上当たりCO ₂ 排出量原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	93.8	82.4	71.2	78.0
用水使用量	(m ³)	262	273	177	289
一般廃棄物排出量	(kg)	653	521	599	593.6
産業廃棄物排出量	(t)	30	71	41	35
産業廃棄物再資源化率	(%)	59	78	72	59
グリーン購入量	(%)	65	46	45	53
環境負荷の少ない工事	(件)	55/55	56/56	52/52	62/62

環境負荷の実績推移

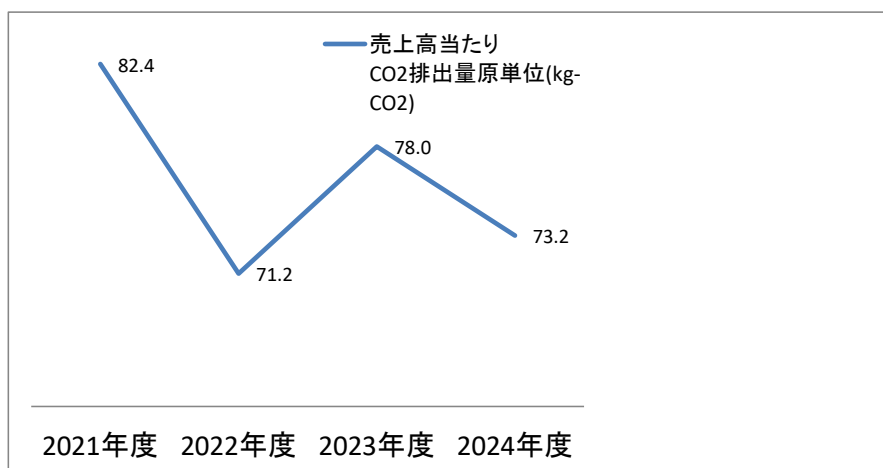
●CO2排出量総量

項目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2排出量 (kg-CO2)	70,237	68,025	62,257	71,961



●売上高あたりCO2排出量原単位

項目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高あたり CO2排出量原単位 (kg-CO2)	82.4	71.2	78.0	73.2



8. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2024年1月1日～2024年12月31日

項目		活動内容	評価	評価の内容	見直し
C02 排出量	燃料使用量	相乗りの推進	○	遠方現場の受注が多く長距離移動となることで、燃料使用量削減の目標は達成できなかったが、活動内容においては定例会で全社員に周知を徹底し取組ができている。	引き続き材料発注のスリム化・軽量化など、車両使用負担軽減を念頭に置き、活動内容を周知徹底していく。
削減	削減	定期的整備の実施	○		
		不要荷物の積載禁止	○		
	電力使用量	OA機器の省電力設定	○	猛暑・寒波により適正化温度でのエアコン稼働が難しく、社員の健康維持を優先する必要な使用であった。過ごしやすくなる日中や帰宅時は、機器類の電源を落とすよう周知できていた。	引き続きこまめな節電を心がけていく。
	削減	クールビズ・ウォームビズの推進	○		
		空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	×		
		空調室内機のフィルター、室外機のファンの清掃	○		
用水使用量削減		節水掲示など社員への周知徹底	○	用水使用量の削減も達成でき、定例会での周知徹底により活動内容においても目標達成出来た。	引き続き継続していく。
(排水量削減)		洗車時の水量調整、バケツ使用の励行	○		
		まとめ洗いの実施	○		
廃棄物削減	一般廃棄物	分別の徹底	○	2024年度は事務所の大幅な改修があり、廃棄物が増加し目標達成とはならなかったが、計画に沿った取組はできていた。	今後も出来る限り紙使用停止を継続していき、不要な廃棄物を出さないよう努めていく。
		文書類の電子化によるペーパーレス化の推進	○		
		個人ゴミの持ち帰り処分	△		
	産業廃棄物	マニフェストの適正管理。	○	定例会での周知徹底により目標達成出来た。	引き続き継続していく。
		工事管理の徹底で廃棄物の減少を図る	○		
		作業員・下請業者への周知徹底	○		
		分別によるリサイクル業者への搬送	○		
グリーン購入		購入品の指定	×	購買担当者が変わりグリーン購入に対する知識が乏しかったため、積極的な購入に至らなかった。	購入品を見直しグリーン購入推進に取り組む。
		詰め替え商品の購入	○		
環境負荷の少ない		低軽音、排出ガス対策型、建設機械の使用	○	定例会での周知徹底により目標達成出来た。	引き続き継続していく。
工事実施		節水・節電型の機器の設置	○		
		再生砕石や再生土の使用	○		
環境美化活動		月1回 第1土曜日に、男性社員による事務所半径100m以内の清掃。営業日は女性社員による事務所周辺の清掃。	○	地域の清掃活動として取組を行い目標達成出来た。	引き続き継続していく。

発行年月日 達成 ○ ほぼ達成 △ 未達成 ×

・評価は毎月の定例会において実施状況を確認・評価し、年間の評価とした。

9. 環境経営目標の達成状況・環境経営計画の実施状況と評価結果

作成者：環境管理責任者

手順：環境管理責任者は、①環境経営目標の達成状況・②環境経営計画の実施状況・③環境法規の順守状況・④重要度の高い環境負荷の状況及び取組の実施状況について、定期的に確認（監視・測定）のうえ評価する。

確認項目	各欄は確認日と評価			
	2024年3月1日	2024年6月7日	2024年9月6日	2024年12月6日
①環境経営目標の達成状況 (四半期毎に確認) 進捗率を記入。 期間終了時点で環境目標の達成が可能か、未達成かを判断。 困難な場合は是正処置を実施する。	1～2月で従業員2名増加。 1月末に大規模な現場が開始。 高知は太陽光稼働の影響もあり、電力使用等は抑えられたが大阪は従業員寮での使用により、都市ガス使用量が増加。 目標・計画の取組は問題なし。 【2月末までの進捗状況】 25%～ 電力 50%～ 都市ガス	3～5月に従業員4名増加。 3月末に遠方現場が開始。 相乗り乗車の推奨、アイドリングストップを徹底。 夏に向け健康第一に電力使用量の削減に取組む。 【5月末までの進捗状況】 50%～ 軽油・電力 75%～ 一般廃棄物 100%～ 都市ガス	6～8月に従業員4名増加。 9月頭に遠方現場が開始。 遠方への移動や、大阪社員寮での使用で各項目の数値が増加傾向。熱中症対策など致し方ないこともあるが、環境経営計画に沿った取組を行っている。 【8月末までの進捗状況】 75%～ ガソリン・軽油・電力 100%～ 都市ガス・一般廃棄物	10～11月にかけて現場が複数開始。掛け持ちや往復によりガソリン使用量増加が見込まれる。 引き続き遠方現場もあるため、可能な限り使用量削減に取り組んでいく。 【11月末までの進捗状況】 100%～ ガソリン・電力・都市ガス・一般廃棄物
②環境経営計画の実施状況 (毎月確認) 計画に沿った取組が、定められた責任・役割のもと、スケジュールとおりに実施しているかの判断。 困難な場合は是正処置を実施する。	2024年1月5日 EA会議において環境管理組織体制、役割・責任・権限の周知を行った。	2024年2月2日 EA会議において今年度の目標と計画周知。計画通りに実施出来ている。	2024年3月1日 EA会議において環境経営計画に沿った取組が計画通りに実施出来ている。	2024年4月5日 前月に引き続き、実施できている。
	2024年5月10日	2024年6月7日	2024年7月5日	2024年8月2日
	前月に引き続き、実施できている。	前月に引き続き、実施できている。	前月に引き続き、実施できている。	前月に引き続き、実施できている。
	2024年9月6日	2024年10月4日	2024年11月1日	2024年12月6日
	前月に引き続き、実施できている。	前月に引き続き、実施できている。	前月に引き続き、実施できている。	前月に引き続き、実施できている。
③環境関連法規の遵守状況 (四半期毎に確認) 届出の有無、測定の実施状況(時期、頻度等)、基準値の遵守状況等、遵法性について確認。 困難な場合は是正処置を実施する。	2024年3月1日 環境関連法規等の遵守が出来ている。産業廃棄物管理票の交付の届出、建設廃棄物の発生抑制、再資源化等による低減努力が出来ている。 3/1 エアコン簡易点検異常なし。	2024年6月7日 前月に引き続き、環境関連法規等の遵守が出来ている。 6/7 エアコン簡易点検異常なし。	2024年9月6日 前月に引き続き、環境関連法規等の遵守が出来ている。 9/6 エアコン簡易点検異常なし。	2024年12月6日 前月に引き続き、環境関連法規等の遵守が出来ている。 12/6 エアコン簡易点検異常なし。
④重要度の高い環境負荷の状況及び取組の実施状況 (四半期毎に確認) 環境配慮の取組が適切に実施されているかの判断。 困難な場合は是正処置を実施する。	2024年3月1日 低騒音、排出ガス対策型の建設機械の利用している。	2024年6月7日 前月に引き続き、環境に配慮した取組が出来ている。	2024年9月6日 前月に引き続き、環境に配慮した取組が出来ている。	2024年12月6日 前月に引き続き、環境に配慮した取組が出来ている。

10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(2025 年度)

期間：2025年

1月～12月

5. 環境経営目標 当年度(総量) に記載

(2) 環境経営計画

(2025 年度)

期間：2025年

1月～12月

項目		活動内容	担当者	期間
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	相乗りの推進	工事部	2025. 1-2025. 12
		定期的整備の実施		
		不要荷物の積載禁止		
	電力使用量 削減	OA機器の省電力設定	全社員	
		クールビズ・ウォームビズの推進		
		空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）		
		空調室内機のフィルター、室外機のファンの清掃	工事部	
用水使用量削減 （排水量削減）		節水掲示など社員への周知徹底	全社員	
		洗車時の水量調整、バケツ使用の励行		
		まとめ洗いの実施		
廃棄物削減	一般廃棄物	分別の徹底	全社員	
		文書類の電子化によるペーパーレス化の推進		
		個人ゴミの持ち帰り処分		
	産業廃棄物	マニフェストの適正管理	工事部	
		工事管理の徹底で廃棄物の減少を図る		
		資材の再利用・転用		
		分別によるリサイクル業者への搬送		
グリーン購入		製品の長期使用	総務	
		詰め替え商品の購入。		
環境負荷の少ない工事実施		低騒音、排出ガス対策型、建設機械の使用	工事部	
		環境に配慮した工法の提案		
		再生砕石や再生土の使用		
社会貢献活動		月1回 第1土曜日に男性職員による事務所半径100m以内の清掃。営業日は女性職員による事務所周辺の清掃。	全社員	

ZOOM利用して高知と大阪の合同会議を行い、同一の活動計画を周知し計画目標を達成する。

1 1. 環境関連法規などの遵守状況の確認、評価結果、違反・訴訟などの有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

作成日： 2024年2月13日

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
	第12条の3	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
	第12条の37項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
騒音規制法	第5条	○騒音規制基準の遵守	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）				
振動規制法	第5条	○振動規制基準の遵守	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）				
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	第16条 第43条 第45条	○簡易点検の実施 エアコン：第一種特定製品 ○第一種特定製品の廃棄の受託 発注者からの（委託確認書を受け）引取証明書の写しを添え、廃棄物・リサイクル業者に廃棄依頼	1回／四半期 必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
消防法	第8条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 （遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出）	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
	第17条の3の2	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工10日前	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、排水渠等の設置	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日

**環境関連法規等の取りまとめ表
(条例)**

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2025年1月10日
大阪府環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	大阪事務所長	遵守	2025年1月10日
大阪市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	大阪事務所長	遵守	2025年1月10日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2024年1月1日～2024年12月31日まで 環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

12. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

見直しに必要な情報				代表者による見直し・指示	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況				変更の必要性：□有 ■無	
環境関連法規制等に関する違反はありません。				指示事項・コメント	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 2024年1月1日～2024年12月31日までの間 是正処置・予防処置となるものはありませんでした。				現状のまま継続します。	
③前回までの代表者の指示事項への対応					
指示事項はありませんでした。					
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画】	
				変更の必要性：□有 ■無	
				指示事項・コメント	
				現状のまま継続します。	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)		
燃料使用量の削減	×	○	目標未達成だが取組は出来ている。		
電力使用量の削減	×	△	改善に向けて努めていく。		
都市ガス使用量の削減	×	△	改善に向けて努めていく。		
CO ₂ 排出量の削減	×	△	目標未達成だが取組はほぼ出来ている。		
用水使用量削減	○	○	今後も維持継続していく。		
一般廃棄物排出量の削減	×	△	改善に向けて努めていく。	【実施体制】	
産業廃棄物排出量の削減	○	○	今後も維持継続していく。	変更の必要性：□有 ■無	
産業廃棄物再資源化率	×	△	改善に向けて努めていく。	現状のまま継続します。	
グリーン購入量	×	△	改善に向けて努めていく。		
環境負荷の少ない工事	○	○	今後も維持継続していく。		
<改善提案>				【総括】	
今後も定例会で情報を共有し問題点を改善してより良い環境に努めます。				指示事項・コメント	
【周囲の変化の状況】				猛暑・寒波の影響で電力使用量が増えた。 工事の受注内容や従業員の増減によりCO2排出量が大きく 左右されるが、可能な限り削減に努めていく。 会社として社員が環境活動に取り組んでいける環境を整え 今後も継続して定例会を行い、全社員がエコアクション21の 目標達成に向けて推進活動を行います。	
①外部コミュニケーション記録より 2024年1月1日～2024年12月31日までの間 外部からの苦情はありませんでした。					
②環境関連法規制等の動向他					
特にありませんでした。					
代表者が自ら得た情報					
特にありませんでした。				2025年2月21日 代表取締役 徳平 周也	



環境経営活動への取組

本社・大阪事務所

＜R4.8月 業務アプリkintone導入＞ 業務の効率化・用紙削減



＜ペットボトルキャップ回収運動＞ 環境に配慮した製品の使用



＜環境美化活動＞ 地域社会貢献



＜一般廃棄物分別＞ 分別徹底、廃棄物削減、リサイクル



＜R4.12月 本社・大阪コピー機の入替＞ 電力使用量、ミスコピーの削減



＜センサーライトの使用＞ 電力使用量削減



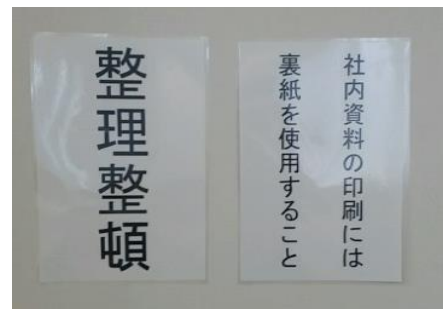
＜R4.12月 太陽光発電・蓄電池設置＞ 電力使用量削減(R5年より始動)



*その他

- ・グリーン購入推進
- ・古紙回収によるリサイクル…等

＜社内掲示＞ 習慣化の意識付け



＜社外掲示＞ クリーンアップ呼びかけ(大阪)



社員個々の環境活動

ゴミ拾いSNSピリカに参加(大阪)



Pontaが取り組むSDGsプロジェクト 「Green Ponta」に参加(大阪)



- *マイバッグ、マイコップ、マイ箸の利用
- *居住地区での清掃美化活動
- *登山チーム活動でのゴミ拾い …等

自社所有による低排出・低騒音の機材使用（油圧ショベル）



＜森林保全基金へのポイント寄付＞

*備品購入利用ポイントを森林保全活動に定期的に寄付

お客様のNetRICOHポイントを対象ギフトと交換していただくことで、森林保全活動や海洋保全活動などの社会貢献活動への支援につながります

森の生物多様性保全につながる

一般財団法人 C.W.ニコル・アファンの森財団




財団法人C.W.ニコル・アファンの森財団とは
『日本の森を、ふたたび野生動物の棲める豊かな森に戻したい』そんな思いでC.W.ニコル氏は、1986年より、長野県黒姫の荒廃した里山を少しずつ買い取り「アファンの森」と名づけて、再生活動を始めました。
そして、さまざまな生き物が暮らせる森となりつつある今、この森を永遠の森にするために、ニコル氏は、この森を寄付して、2002年5月「財団法人C.W.ニコル・アファンの森財団」を設立しました。
<https://afan.or.jp/>

主な商品一覧

- 寄付 10,000 points**
アファンの森トラスト基金10,000ポイント
長野県黒姫にある「アファンの森」再生活動として、5,000円分が寄付され、それが1坪分の森トラスト基金と1年間の管理費用として活用されます。
- 寄付 1,000 points**
森林保全基金1,000ポイント
森に棲む生き物（生物多様性の向上）のために、森林を整備保全する基金として活用されます。
- 寄付 1,000 points**
震災復興支援基金1,000ポイント
東日本大震災に関連しました事業の活動資金の一部として寄付されます。

2022年8月実績
5000ポイント寄付

＜海ごみゼロウィーク2022 6月4日参加＞



*海と日本PROJECT推進パートナー企業として
桂浜花街でゴミ拾い活動をしました。



3R

原料として再生する「Recycle（リサイクル）」

もともとのゴミを減らす「Reduce（リデュース）」

繰り返し使う「Reuse（リユース）」

施策	省エネ効果の目安	頻度等
フィルターの清掃	冷房時で約4% 暖房時で約6%の省エネ	2週間に1度が目安
室外機の温度環境や障害物の見直し	室外機の風通しが悪いと電気代は1.5倍に。	
熱交換器(フィン)の清掃	長期間行わなかった場合に比べて約27%の節電	・工場/店舗・・・約3年 ・事務所/オフィス・・・約5年 ・福祉施設/医療施設・・・約5年
部屋に応じた適正温度の設定	室温の目安は「夏期 28℃、冬期 20℃」で1℃最適化するだけで約10%の削減が可能。	
冷水出口温度設定値の変更	冷水温度を7℃から9℃へ上げると 使用電力は8%削減	
外気導入量の削減	・オフィスビル・・・節電効果5% ・卸・小売店・・・節電効果8% ・食品スーパー・・・節電効果4% ・医療施設/福祉施設・・・節電効果2% ・製造業・・・節電効果8%	
残熱利用による運転時間の短縮	約6%の省エネ (8時間勤務のオフィスで30分間空調停止した場合)	
分散起動	冬の商業施設で約9%の削減効果	
ナイトパーズ	約5%の省エネ (ナイトパーズシステム 利用)	
ブラインド等で遮光する	ブラインド無しの場合と比較して10.6%の省エネ効果	

CO2削減

インクカートリッジ,乾電池のリユース CO2排出ゼロ

